



サポセン富山たより

第12号

令和5年1月発行

富山市保護司会更生保護サポートセンター

電話:076-461-4706 FAX:076-461-4707 メール:saposentoyama@gmail.com

年頭のご挨拶

富山市保護司会会長 杉田 欣次



新年明けましておめでとうございます。

皆様方には輝かしい新年を迎えられたことをお慶び申し上げます。

さて、昨年は県内外の皆様のご意見を伺う機会が多くありました。

それは中部地区協議会や北陸3県都協議会、県保連総務部会などでの意見交換です。

「保護司会による『息の長い』支援」や「サポートセンター・総務部会の活性化」などについて熱心に話し合
を致しましたが、必ず議題になったのが「保護司適任者の確保」でした。

富山市保護司会の定数は202名です。現在数は165名ですから、充足率は82%ということになります。
近年、団塊世代の保護司が順次退任されているので、「保護司適任者の確保」は喫緊の課題であると言え
ます。

この件については、予てから皆様方にご尽力頂いているところでございますが、定年制の延長など困難な
面もあるようです。しかしながら、今後とも次の2点からのアプローチが肝要ではないかと思われ
ます。

一つは令和2年度から実施致しております、「富山市民生児童委員協議会高齢者障害者福祉部会」との
意見交換会でございます。こういう機会を得て、「保護司」自体を更にご理解いただき、諸団体長の皆様に
受け入れて貰いやすい状況が生まれるのではないかと期待されます。

もう一つは、市民の皆様への理解の促進であります。これは「社明運動」など、あらゆる機会を活かして
の多様な広報啓発活動ではないかと思えます。そうすることにより、「保護司」への一層の理解が市民の皆
様の中にも浸透して行けるのではないかと思えます。

ところで、令和5年度は、令和6年度を初年度とする「富山市再犯防止推進計画」の計画策定年ござい
ます。当保護司会も本計画策定に参画させて頂くことになりました。このことにより、より実質的な計画策定
がなされていくのではないかと考えております。

刑法犯の認知件数は減少しておりますが、一方では再犯者率が増加しております。それに伴い、上記計
画の推進が一層重要となり、保護司の役割も多様化しようとしております。いわゆる「地域再犯防止推進事
業」であります。

今後とも皆様方のご理解とご協力をお願い申し上げる次第でございます。

会員の皆様のみならず皆様のご健康とご活躍をお祈り申し上げて年頭のご挨拶と致します。

